

なかしべつ 議会だより

No.140

令和6年1月



計根別学園 6年生の14名が傍聴に来てくれました (12月11日：定例会 1日目)

主な内容 12月定例会 (P2)

「委員会代表質問」 2委員会 (P3・4)

「一般質問」 7名 (P5～8)

決算審査特別委員会報告 (P10・11)

議会ホームページ



12月定例会 全議案可決

条例改正案など

令和5年12月定例会を12月11日から15日まで開催。以下の議案について審議し、議決しました。

■令和5年度各会計補正予算

◇一般会計補正予算（第5号）

2億7235万4千円を追加し、総額169億1000万円となりました。

（単位：千円）

	議会費	総務費	民生費	衛生費	農林業費	商工費	計
補正額	△ 934	8, 290	227, 019	4, 320	7, 737	158	272, 354
	土木費	消防費	教育費	公債費	職員費		
補正額	127	1, 873	4, 131	△ 6, 154	25, 787		

【主な補正内容】

《高齢者世帯等生活応援給付金給付事業》

【事業費：1987万7千円】

対象：高齢者1403世帯、障がい者35世帯、ひとり親110世帯、生活保護222世帯

給付：1世帯当たり1万円

《電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業》

【事業費：1億8128万6千円】

対象：低所得2280世帯、被扶養親族260世帯、家計急変10世帯

給付：1世帯当たり7万円

《保健衛生指導対策費》

【事業費：155万1千円】

町民の健康増進のための寄附を活用し、弱視等検出機器、ストレッチ用具等を整備

◇国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）：人事院勧告等による増額

◇後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）：負担金の確定等による減額

◇介護保険事業特別会計補正予算（第2号）：人事院勧告等による減額

◇町営牧場特別会計補正予算（第1号）：人事院勧告等による減額

◇水道事業会計補正予算（第1号）：人事院勧告等による増額

◇簡易水道事業会計補正予算（第2号）：開陽浄水場膜ろ過機械設備修繕工事等による増額

◇下水道事業会計補正予算（第2号）：人事院勧告等による増額

◇町立中標津病院事業会計補正予算（第2号）

【主な補正内容】

7218万7千円を追加し、総額53億4711万円となりました。

病院事業収益で、外来患者数の増、予防接種業務の増等による増額

資本的支出で、予防接種予約システム、泌尿器科オンライン診療システム購入等による増額

■条例の一部改正

◇特別職の職員の給与に関する条例及び中標津町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定

◇職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

◇中標津町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定

◇中標津町手数料条例の一部を改正する条例制定

◇中標津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

■承認

◇専決処分承認を求めることについて

工事請負変更契約の締結（広陵中学校長寿命化改修建築主体工事・電気設備工事（その1）・機械設備工事）

■その他

◇町道路線の認定及び廃止

12月定例会で以下の項目について町長および教育長から報告を受けました。

一般行政報告

1. 要望等について
2. 寄贈金品について
3. クテクンベツ川への建設汚泥流出について
4. 作況状況について
5. 中標津空港利用促進について
(北海道エアシステム就航)
6. 小樽商科大学との包括連携協定の締結について
7. 学校法人岩谷学園について
8. 令和5年度建設工事の発注状況について

教育行政報告

1. 芸術文化振興事業について
2. 各種大会等の出場結果について



詳しい内容はこちらのホームページに掲載しています。

<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/gyouseihoukoku/>

委員会 代表質問

委員会代表質問の全文をこちらのホームページに掲載しています。

<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/iinkaidaihyousitumon/>



厚生 常任委員会

質問

ごみ収集存続危機に対する 新たな処理対策の実現を

質問

道内外の視察や委託業者との懇談を経て、現在の形でのごみ収集と処理が、今後継続できなくなるこの危機感をもとに議論を重ねました。

1点目 水分を含んだ生ごみを焼却するのではなく、スマートコンポストを導入し、資源化の道を求めること。

2点目 収集方式をステーション方式に改めていかなければ、早晚バツカー車の後を走って、ごみ収集にあたる職員を確保できなくなる危機が迫って来ていること。

これに対処するためと費用削減のため、自立型コンポスト導



まつむら やすひろ
松村 康弘 委員

入を組み合わせること。

3点目 広域連合における処理のありようを見直していくこと。

以上、3点を質問します。

町長答弁

1点目 生ごみの資源化も含めた可燃ごみの減量化は大きな課題であり、分別の細分化も検討し取り組んでまいります。

2点目 ごみ収集委託の継続や業務にあたる人員の負担などを十分に考慮する必要がある、ステーション化は用地や費用の問題もありますが、維持管理方法など様々な角度から早急に検討を進めてまいります。

3点目 中長期的な広域連合のごみ処理体制は、あらゆる方法を検討し、ごみの分別の徹底と減量化や資源化、そして焼却施設の運営にかかる負担金の削減を図り、効率的で安全安心な運営に取り組んでまいります。

産業建設 常任委員会

質問

町財政が判断する公共施設 等総合管理計画の問題点



高橋 善貞 委員

本年6月定例会で補正予算により議決した中標津町総合文化会館の補修工事は、過去から見積書の提出を行ってきた案件で、大ホールが雨漏りする事態になるまで、工事費の予算化は

平成28年度からの11年間を計画期間とする「公共施設等総合管理計画」は、計画策定以来、経過年数・老朽化率等が全く更新されていないことを当委員会が指摘し、令和4年度決算審査で最新の資料が提出されました。令和4年度末において公共施設は全549施設のうち、耐用年数に至っていない建物は172施設（全体の約3割）で、耐用年数を超えている建物が377施設、そのうち耐用年数の2倍超えの建物が61施設、耐用年数の3倍超えの建物が6施設、耐用年数の4倍超えの建物が1施設（昭和32年度建設）あります。

質問

認められませんでした。

7年前の計画時は、従来の対症療法的な維持管理から、予防保全型の維持管理に重点を置いて、公共施設の長寿命化を進めていく考えだったはずで、
1点目 実際に施設を管理する担当者が、管理上必要なメンテナンス工事費を要求しても財政的な理由で見送られ、後年度膨大な予算が必要になった場合、責任の所在はどこにあると思いますか。
2点目 旧武佐小学校などの未利用公共施設について、今後どのように処分していく考えですか。
3点目 令和6年度予算に反映できるように、管理計画を更新し、町民・議会・行政は情報共有すべきでないでしょうか。
以上3点を質問いたします。

町長答弁

1点目 老朽化した施設の現状を踏まえ、将来負担とならないように計画の方針に沿って、適切に管理してまいります。
2点目 職員の育成・業務の一部委託など調査研究し、町全体の予算を勘案しながら優先順位を定め、着手してまいります。
3点目 現管理計画の公共施設の所有状況・老朽化率等について、今後更新を行い情報提供させていただきます。

根室地方森林・林業・林産業 活性化推進議員連盟協議会研修会

日時：令和5年10月24日（火）12:00～15:00 場所：北方四島交流センター「二・ホ・ロ」

講演 「根室管内の豊かな自然を国定公園に」

講師 根室市歴史と自然の資料館 学芸員（自然） 外山 雅大氏

視察 「春国岱原生野鳥公園」

説明者 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターレンジャー 掛下 尚一郎氏

知床国定公園に隣接する根室の海岸線から別海町尾岱沼の自然環境を国定公園に、との講演でした。

講演後、春国岱原生野鳥公園に移動し、公園内の木道を歩き視察してきました。

道東の観光資源が増えてくるものと期待します。



林活議連 幹事 松野 美哉子議員

東京・札幌中標津会



東京中標津会
令和5年11月18日(土)
アルカディア市ヶ谷



札幌中標津会
令和5年11月25日(土)
ホテルライフオーソ札幌

東京(86名)、札幌(55名)の総会・懇親会に、議会から4名ずつ参加し、条例に基づいて牛乳で乾杯をしました。札幌は4年ぶりの開催で、抽選会や会員の皆さんと楽しく懇談し、和やかなうちに終了しました。

副議長 鈴木 亮弘

一般質問

全文はこちらのホームページに掲載しています。

<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>



質問 中学生議会の存続を

答弁 現場に負担を強いることから区切りをつけます

むねかた かずき
宗形 一輝 議員

質問

全国的に主権者教育が増加傾向にある中、総務文教常任委員会の中で中学生議会については廃止するこの説明があったようです。

主権者教育とは政治の問題を自分の問題として捉え、自ら考え・自ら判断し・行動することですが、将来を担う子どもたちからこの教育を奪ってしまったいいのでしょうか。

この自治体も近年は、まちづくりへの関心や選挙の投票率の低下、議員の担い手不足等の問題を抱えています。

事業を廃止するのでは



教育長答弁

く、長年積み重ねた経験を基に将来を担う子どもたちが少しでも中標津町をいい町にしていきたいと思えるような、愛着心の湧く主権者教育を再構築し、教育の質の向上を図っていただきたいと考えます。

教育長はどのようにお考えでしょうか。

学校現場にさらなる負担を強いることとなるため、中学生議会という形は一旦ここで区切りをつけることとしました。

今後は学校現場に十分配慮したうえで、どのような形が望ましいのか、他の自治体の取組事例なども参考にしながら、引き続き模索していきたいと考えています。

他の一般質問

●土地の寄附受付制度を

質問 人に優しい公衆トイレの整備を

答弁 場所によっては廃止を考えます

あんどう みか 議員

質問

公園等を除く、7カ所の公衆トイレは、とても綺麗に清掃されています。

ほとんどが和式仕様で耐用年数を超えています。

洋式トイレが多い現代、足腰が弱い高齢者や和式に慣れていない子どもたちには利用したくても利用できない環境であり、駐車スペースがない所は不便さを感じます。

9月に行われた地域社会と若者がつくる新しいミライのかたち『ミチシロカ』の中では、「観光名所となるような話題のトイレにしてみても」と意見がありました。

わかりやすく観光やキャ



ンブ場等へ案内でき、多くの方々が利用できる情報発信型公衆トイレとして、人に優しい中標津町の顔となるような公衆トイレにしてみたいかがでしょうか。

町長答弁

清掃が行き届いているという評価をいただいた一方で、和式トイレであること、駐車スペースがないことなどの不便さ、観光名所となるような話題性のあるトイレの検討・案内看板の改善・情報発信型公衆トイレの構想など、若者や町民が感じる意見を踏まえた指摘であると認識をしています。

7カ所のトイレはいずれも、建設から30年近く経過し老朽化しています。

時代の変化とともに利用状況も変化しているため、今後、利用実態も把握したうえで、維持管理費や費用対効果も十分に検証し、場所によっては廃止も検討していかなければならないと考えています。

質問 人口減少対策と男女共同参画社会の実現をめざして

答弁 女性が活躍しやすいまちにつながるよう対応してまいります

まつむら やすひろ 議員

質問

10月15日の男女共同参画に関する講演会で、町長の冒頭の挨拶に衝撃を受けてこの質問をします。

我町の最近の人口減の社会的要因について、学業を終えた後も札幌で就職し中標津に帰ってこないことが女性に多く、これに対処する方法を様々に考察してみますが、決め手になるようなアイデアを思いつけないでいました。

しかし、町長は中標津において男女共同参画社会を実現することがこの問題を解決する大きな柱ではないかと話されました。

役場庁舎内においても女性の部長は現在皆無です。

子育ての大半を担う女性がキャリアを積み上げていくことは大変なことで、事務方のトップである副町長は、このような状況をどう



副町長答弁

本町では15歳から24歳の女性の転出が多く、男性に比べて戻るケースが少ない状況です。

男女がお互いを尊重し合い、社会のあらゆる分野で十分に能力を発揮できる男女共同参画社会は、大事な取り組みと考えます。

部長職はいませんが、課長職の割合は18%と6%増加し、今後も職務経験や能力を踏まえて登用していきます。

再質問

これから登用していく女性に、手当てがしっかりとできるのでしょうか。

町長答弁

役場の環境整備から取り組み、女性が活躍しやすいまちにつながるよう対応してまいります。

他の一般質問

●計根別かばちやプロジェクトを多くの町民に見てもらうための取り組みを

お考えになるかお聞かせください。

質問 観光振興の展望について

答弁 機運が高まれば町として協力します

えぐち ともこ 議員



質問

本年、登山愛好家により結成された、南知床山岳会の方々が、標津岳の登山道に続き、令和2年に閉鎖となった北根室ランチュウエーの保全についても協力を検討しているとのことですが、四季を通じた活用のできる観光資源として、その価値を再考すべきときではないでしょうか。

町長答弁

閉鎖に至った時点の課題が解決されていない状況での復活は難しいですが、ランチュウエーを含むロングトレイルの造成など新たな団体等で機運が醸成されるのであれば、町としても協力します。

再質問

町に根付いた歩く文化を継承する考えると、町はいち協力者ではなく主体的な関わりをする考えはありますか。

町長答弁

ロングトレイルの人気については理解していますが、現状では協力する程度と考えています。

質問

車を所有しない地域おこし協力隊が着任した場合、ガソリン代を負担すること、公用車の私的使用を認めている近隣町もあります。観光業務に支障をきたすことのないよう、当町でも検討すべきではないでしょうか。

町長答弁

当町に赴任する地域おこし協力隊員は、三大都市圏内都市地域（東京、大阪などの大都市圏）という要件のため、これまでも乗用車所有者は少数であったことから、柔軟な運用を検討できると考えています。

質問 町内会加入率全道ワースト1に対する行政側認識との隔たり

答弁 町内会加入に強制力はないが必要性を訴えています

たかはし よしさだ 議員



質問

読売新聞で報道された「北海道内の町内会加入率」の記事で、中標津町は加入率41.8%で全道ワースト1位であることがわかりました。読売新聞オンラインでは「町内会加入率、自治体で差、北海道最低は中標津町」の大見出しで全国配信されています。

最下位の加入率は2019年全道調査値であり、5年前から行政側が公表しなかったことも危機感がない原因の一つだと思います。

1点目の質問は、担当者が読売新聞の取材に対し「最下位は認識している、このままでは限界がくる」と答えているが、町内会が機能しない加入率とは何%なのでしょう。2点目の質問は、行政も

町内会に依存してきたこと、今後も依存すること等を整理し、町内会の必要性を検討すべきではないでしょうか。

3点目の質問は、数値目標をもった年次計画を策定し、行政・議会・全町連などが連携して「加入率50%に戻す」を目標に努力すべきではないでしょうか。

町長答弁

1点目の限界加入率は、根拠がないので示すのは難しいです。

2点目の行政と町内会の関係性は、全庁的調査を行い連携業務の把握に努めます。

3点目の年次計画等については、それぞれの立場でできることを取り組み、連携すること課題解決を図ります。

再質問

町長は報道されるまで最下位を知らなかったのでしょうか。

町長答弁

加入率が低い認識はありましたが、報道されるまで知りませんでした。

質問 町民と環境を守るための散骨条例を

答弁 調査研究を進めます

ひらやま ひろみ
平山 光生 議員

質問

最近では少子高齢化や核家族化が進み、墓じまいをしてご遺骨を自然に還す自然葬の需要が拡大し、本町でも自然葬を希望する声が聞こえています。

しかし、需要の拡大とともに、遺骨には「六価クロム」という環境有害物質が検出される場合があることがわかってきました。

国のガイドラインには、環境有害物質の検査と無害化処理について明記されています。

本町には一次産業に欠かせない広大な大地と子どもたちに繋ぐべき豊かな自然があります。

法整備がされていない今だからこそ、環境の維持と町民が危険にさらされるこ



このないよつに、散骨条例を制定する必要があると考えますが、町長の考えをお聞かせください。

町長答弁

現在、墓地埋葬に関する規制権限は地方自治法上、自治事務とされています。

散骨など、様々な埋葬方法が、一定程度実施されている一方で、無制限であるとはならず、自然と環境に配慮し、安全・安心な地域を守るという視点も踏まえ、今後散骨の規制に関する調査研究を進めていきます。

再質問

調査研究を行い、町民需要が増加してから制定を検討されるのでしょうか。

それとも、事前に制定し、町民を守ることが大切だと考えているのでしょうか。

町長答弁

今は見識がないので、調査研究はしますが、はつきりとしたことは言えない現状です。

質問 エゾシカの利活用促進を

答弁 利活用の取り組みを周知し後押しを行います

まつの みやこ
松野 美哉子 議員

質問

本町では、住民生活や基幹産業の酪農・農作物のエゾシカによる被害拡大を抑えるために、有害駆除の担い手である狩猟者を確保し、猟友会の支援を推進する方針があります。

昨年・今年と、狩猟者への頭数割り当てがあつたこと聞きましたが、今後も同様に行いますか。

しるべつとを会場に「第4回鹿フェス」が開催され、農業高校生が調理した鹿肉パテのハンバーガー・様々な鹿肉料理・鹿肉ジャッキー・冷凍の鹿肉が販売されていました。

支援学校生のペットフード用の器の出品もあり、ま



た、子どもたちは、鹿皮や角を使いキーホルダーづくりに喜んで参加しました。当町の「エゾ鹿肉を食肉用として有効活用の推進」の方針に適合した取り組みでした。

エゾシカを無駄なく使った製品のクリエイターが各地から集まり、空き家対策、移住促進にも繋がる可能性がある産業になるのではないかと思います。

エゾシカ活用をさらに進展させるために、町として支援をしていく必要があると思います。町長はかがお考えでしょうか。

町長答弁

狩猟者への頭数割り当ては、駆除頭数の適正管理の観点から、今後も実施してまいります。

また、鹿肉料理のポジションングを変え、食文化として改めて広めていく必要があり、鹿皮や角の加工品の取り組みを広く周知し、エゾシカ利活用の後押しを行ってまいります。

意見書



詳しい内容はホームページに掲載しています。
<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>

議員から意見書案が発議され、定例会において審議の結果可決し、関係機関に提出されました。

北方領土問題の解決促進等を求める意見書

提出者 佐久間 ふみ子 議員

根室町村議会 議長会主催

議員研修会

日時：令和5年10月27日(金)

13:00～17:00

場所：別海町役場 101・102会議室

講演 第1部 「議会と議員とハラスメント」

第2部 「議会で生きる一般質問」

講師 法政大学法学部 土山 希美枝教授

事例発表 「一般質問検討会議から議会の政策形成へ」

発表者 別海町議会 西原 浩 議長

根室町村議会議長会主催の研修会が開催されました。

別海町議会サポーターでもある土山教授の講演およびグループワークと西原別海町議会議長の事例発表、意見交換を行い、一般質問検討会議への理解を深めました。

また、3年ぶりとなる交流会が開催され、さらに親睦を深めることができました。

広報特別委員会 委員長 阿部 隆弘



全員協議会「第3回防災力アップ講座」

日時：11月21日(火) 13:00～15:00

場所：中標津町役場 301号会議室



●講演内容

- 1 防災気象情報について
- 2 中標津町の観測値について
- 3 警戒レベルやキキクルについて
- 4 線状降水帯について
- 5 暴風雪について

●講師

釧路地方気象台

防災管理官

観測予報管理官

津田 定森

知志氏 尚人氏

釧路地方気象台の協力により、第3回目となる防災力アップ講座を開催しました。

近年頻発している自然災害を念頭に、天気予報用語・一般的な語句の解説・警報や注意報の種類の説明を受けました。

また、災害時には、行政は住民の避難を全力で支援し、住民は防災気象情報を活用し、『自分の命は自分で守る』ための行動が大切であること。

本町で前例がなく、いつ起きるかわからない「線状降水帯」マンホール・下水などが排水できなくなって起こる「内水氾濫」等、北海道の大雨を念頭に説明していただきました。

平成25年当町で発生した暴風雪災害の教訓と災害時の避難に当たっては、町長など住民に近い人の呼びかけが効果的であるとして、議員の果たす役割についても深く考える講座となりました。

総務文教常任委員会 委員長 江口 智子

決算審査特別委員会報告

審査期間 令和5年9月11日～11月10日まで

審査経過

令和5年9月11日に決算審査表を受け取り、15日には各会計の決算概要の説明を受け、委員は9月19日までに質問事項を作成後、分科会で質問事項を精査しました。

10月13日に部局で作成された決算審査表（答弁）の事前配布を受け、分科会で説明要否の協議を行い、その後、分科会本審査、さらに全委員での本審査に臨みました。

なお、今回から説明要否協議結果調整、講評協議結果調整の委員会を設け、全委員で審査内容を共有し審査の充実を図りました。

審査結果

令和4年度中標津町一般会計外8会計について、各委員より199件の質問を受け慎重に審査した結果、

コロナ禍での行政運営となった厳しい状況の中、各会計ともに効率的な予算執行が行われていることに敬意を表します。

歳入

町税は調定額が増加している中、前年度同様の収納率97.4%を維持し、国民健康保険税、介護保険事業保険料は前年より向上しています。

しかし、学校給食費負担金、町営住宅使用料の収納率は若干の減少が見受けられます。

収納率向上に努力を重ねる担当職員皆様の努力を高く評価しますが、現年度分を滞納額にしない一層の努力を期待します。

一方、引き続き悪質な滞納者への厳しい対応で臨むことはもちろん、一歩進んだ徴収体制の確立に向けた

調査研究を行い、公平公正な歳入確保に取り組んでいただきたい。

また、生産物売払収入における町有林ジョークレジット収入については、令和4年度は370万円を超え、そのうち、ふるさと納税返礼品分6万2千310円でしたが、令和5年10月現在の販売件数は0のことでした。

本町はグリーンカーボンの先駆けとしてジョークレジット販売の実績をもつてSDGsにも貢献し、さらに令和5年にはゼロカーボンシティ宣言もしていることから、広く町内外に周知していただき、環境貢献に注力いただきたい。

令和4年度ふるさと納税実績は、寄附件数7千126件（前年度6千833件・4.3%増）、寄附金額1億2千110万円（前年度1億1千649万円・4.0%増）になりました。

寄附額2億円を目標としながら、大きく届かない残念な状況となりました。

要因として十分なPRや情報発信ができなかったことが説明されましたが、サイト数を増加させるなど積極的な取り組みも確認できました。

今後も幅広い施策の充実に資する重要な寄附の獲得に向けた事業展開を図り、目標額を達成されることを大きく期待します。

病院事業会計は、国や北海道からの補助金収入がありました。入院・外来ともに患者数および診療収入の増により、令和3年度に引き続き純利益を計上し、併せて金融機関からの一時借入金解消することができました。

一般会計繰入金は、新型コロナウイルス感染症関連の補助金もあり令和3年度と同水準でありましたが、今後は5類移行に伴う補助金の減少が見込まれることから、更なる経営強化の推進を図っていただきたい。

最後に、新型コロナウイルス感染症の変異株により、令和4年度も収束の兆

歳出

1. 情報発信推進事業について
しが見えない中、町立病院医療スタッフを始め、ワクチン接種業務の中心となった町民生活部職員、また、応援業務に当たられた各部職員においては、円滑な接種体制の確保にご尽力いただいたことに対し深く敬意を表します。

町の重要な情報発信手段として、町民に周知すべき内容の精査とメニューやタブなどの機能を研究していただきたい。

特に防災や町の課題である人口減少対策として実施する婚活イベント、また、女性の相談窓口との連携など、更なる拡充が図られることを期待します。

なお、町ホームページの内容で更新されていない状況が見受けられ審査の中で指摘しましたが、定期的に掲載情報を確認するなど、正確な情報発信の重要性を認識いただきたい。

2. シルバースポーツセンターについて

シルバースポーツセンターは高齢者にとって天候を気にせず安価に利用でき、健康維持にも必要な施設です。

しかし、一方では利用可能なスポーツが限定的であることから、年々利用者数も減ってきている現状があり、折に触れて球技を含め多様なスポーツに対応できるように改修されることを期待します。

4. 特定不妊治療費助成事業について

特定不妊治療は国や北海道の施策が充実してきている中、例えば、乳がんの治療により妊娠ができなくなるような事態が予想される時、それ以前に卵子の凍結保存などにも助成が適用されることなどを積極的に広報し、町民の期待に応えるように一層努力いただきたい。

3. 介護人材確保育成支援事業について

高齢者福祉の充実に向け、人材の確保・育成・定着の促進と多様なサービスの提供など、必要な支援が求められています。

それには、慢性的な介護現場の人材不足解消に町内の事業所と連携を図り、町民の理解と協力を得ることが重要です。

今後も効果的な働きかけと周知の拡大に取り組んでいただきたいと思います。

5. 移住長期滞在サポート事業について

本事業は「なかしべつ観光協会」へ委託されていますが、事務局や地域おこし協力隊の人員体制が安定しないため、事業の蓄積がされない、引継ぎが難しいなどの課題が多いことから、町のサポート体制を強化すべきです。

特に移住事業は人口減少対策とも関係し、交流人口・関係人口の増とも大きく連動することから、全庁横断的な連携を図り、その統括に特化した組織体制の見直しを図られるよう取り組んでいただきたいと思います。

6. 専門学校誘致・多文化共生推進事業について

コロナ禍で流動的な事業の実施となったことは理解しますが、令和4年の事業計画で報告されていなかった事項が答弁されました。

留学生のほか、新たに就労人材の獲得を視野に入れる事業とするのであれば、単年度の事業をつなぎ合わせるのではなく、当初から複数年度での事業計画を示すべきです。

7. スポーツ文化遠征費補助金について

新型コロナウイルス感染症の広がりが落ち着きを見せる中、各種大会が通常どおり開催されてきました。

しかし、遠征事業経費に物価高騰の影響が及んでいることを踏まえると、子どもたちが大会に参加し活躍できるような制度に拡張する必要があります。

一部補助ではあります

が、現状に応じた補助基準の見直しをしていただき、本町児童生徒の活躍と成長の場を提供できる環境整備に努めていただきたい。

8. 教育委員会所管施設に付随するユニットハウス等について

令和4年度から常設になっている丸山公園テニスコートの倉庫を始め、いくつかのユニットハウスが町有地に設置されています。

このような施設は建築物であり、その面積の大きさによつては建築基準法が適用されることから、安全性を立証できない限り違法建築物となります。

所有者が指定管理者の中標津町文化スポーツ振興財団の他、スポーツ少年団、リース会社になっていますが、どのような経過で公園等に設置されたのか改めて調査し、都市公園における適正な建築物の管理を行っていたいただきたい。

また、町有地に現存する建築物について、所管の認識不足が見受けられました。

多岐にわたる施設管理を行っている現状は理解しますが、今一度、現況を確認するなど適切な施設等の把握に努めることも、必要があるかと判断される場合は、建築基準法に基づいた建築指導を実施していただきたい。

以上、各会計ともに効率的な予算執行が行われ、町民生活の向上が図られていると判断して、認定すべきとの結論に達しました。

決算審査特別委員会

委員長 千葉 清正



進んでいます!! 議会改革

議員個々の活動を 評価できる仕組みづくり

中標津町特別職報酬等審議会より付帯された「町民が議員個々の活動を評価できる仕組みの必要性」について、具体的な項目をあげ検討しました。

そのうち議員の会議出席日数や、議案・意見書の賛否、視察の復命書、常任委員会の引継ぎ書などは、今期から議会ホームページ上での公開とするよう、議会運営委員会に申し入れを行い、あわせて請願・陳情の案内を公開し、町民の要望を受けやすくすること、すでに申し入れをしている議会のライブ配信の検討状況についても進捗状況の報告を求めました。

また改選後には、議会広報特別委員会で公開した情報を必要に応じて取りまとめ、議会だよりに反映させること、議会報告会の資料として配布することを申し送りする予定です。

その他、これまで検討してきた内容を振り返り、新たな常任委員会の体制に関することなど細部を詰め、来年3月の最終報告に向けて協議を継続していきます。

議会改革特別委員会 委員長 ^{えくち}江口 ^{ともこ}智子

第3回中標津町議会モニター会議

モニター12名中8名・議会運営委員・議会広報特別委員長の出席により開催しました。

日時：令和5年11月7日(火) 13:30～15:00
場所：中標津町役場 1・2号委員会室

9月定例会で懸案となっていた「中標津町議会

議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定」の経過を、議会改革特別委員会江口委員長から説明があり、意見交換を行いました。

6月14日の新モニター就任以降、定例会の本会議、各常任委員会を傍聴した感想や意見が多く寄せられました。

特に議場での議案説明や一般質問、さらに各常任委員会で議員側と行政側の説明や質疑応答に対し、傍聴者も同じ資料を見なければ内容が理解できない現状への指摘がありました。

また、これまで提出していただいたモニターからの意見書（7件）については、議会議員とモニターで情報共有したうえで、議会運営の参考とし、今後も議会に対し忌憚^{きたん}のないご意見をいただくことにしました。



議会運営委員会 委員長 ^{たかはし}高橋 ^{よしさだ}善貞

総務文教常任委員会

活動レポート



総務部

●北方領土対策について

自見内閣府特命担当大臣が来訪され、隣接地域の自治体関係者・関係団体等との懇談が行われたとの報告を受けました。

●ふるさと応援制度推進事業について

9月末で、寄附件数2千929件、寄附金額5千589万8千円と前年度比1.79倍で10月以降のルール改正により自治体が返礼品割合を下げる動きが高まったため、申し込みが増えたと考えられます。

委員 ルール改正の影響は。

担当 町としては影響が見られず、返礼品の値上げ等は事業者の判断です。

●人事院勧告について

月例給は平均1.1%、ボーナスは0.1月の引き上げで本町も勧告ごおりの実施です。

●町財政の現状について

歳入面で町税は堅調に推移し、令和6年度も期待されますが、原油価格や物価高騰の影響のため不透明な状況です。歳出面では社会保障経費や公債費の増加等、経費増で財政の硬直化が懸念されます。

●男女共同参画推進事業について

男女共同参画の意識や実態等を把握し、今後の取り組みの基礎資料とするため、町内の500事業所にアンケート調査を実施し、「まちづくり町民会議男女共同参画編」を開催したとの報告を受けました。

委員 事業所からの参加者が

見受けられないのは「男女共



まちづくり町民会議 男女共同参画編の様子

教育委員会

●中学生議会について

平成22年度から開催してきましたが、課題があり学校の

負担増もあるので廃止したいと提案されました。

委員 廃止の経緯を知りたい。

担当 検討しましたが、学校の意見等を聞く中で、今の形では行えないと判断しました。

●その他

・児童生徒の不登校について
委員 不登校の中には、はっきりした病名の児童・生徒がいますがその対応について知りたい。

担当 現在、病気として診断されているのはアスペルガー症候群、自立神経失調症等で7名となっています。

対応は、タブレット端末の貸与等学習の補完、適応指導教室に通う等、学校と切れ目のない働きかけをしています。

委員会開催 10月18日

11月14日

(佐藤 武志 議員)

厚生常任委員会

活動レポート



町立病院

●管理運営について

委員 こどもクリニックが閉院後のワクチン接種の対応は、

担当 小児ワクチン接種は当院の3倍弱です。対応するためにも同じワクチン接種予約システムを導入予定で、電子カルテシステムとの連動を確認してから、月・木・金の午後の予約が可能となります。

町民生活部

●住民生活・環境衛生事業について

委員 ごみ収集の現状と今後の取り組みは。

担当 ごみ収集業務はステーション化で悪い影響がおよぶ可能性がありますが、白樺町内会等のように町内会単位で取り組むべきだと思います。

年間120日の休日導入企業が多い中、広栄さんは年間68日休日で人が集まらないのは明らかで、労働条件についても女性も働きやすい環境にするべきであると考えます。

焼却施設は、現施設の継続か新施設での稼働力調査中です。

●子育て支援事業について

・中津津町第3期子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査について

子ども・子育て支援法に基づく、支援事業計画策定のためのニーズ調査の概要説明を受けました。

・病児保育事業について

医療法人なかよしが12月で受託終了となり、町立病院で実施を調整中との報告を受けました。

・子ども家庭センターについて

児童福祉法の改正により、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能を持つ「子ども家庭センター」について、ガイドラインに基づき、令和6年4月1日の設置を目指し、協議を進めているとの説明を受けました。

●有限会社広栄との懇談会

代表取締役の臼井尚樹氏に出席していただき、今後のごみ問題を協議するにあたり、改めてごみ処理・回収方法の現状と課題、今後のごみ処理の展望について、資料を基に説明していただきました。

●委員 将来的に委託料の改善、人材確保のための賃金改善が必要では。

業者 委託料は上げずに応えてきたが、社会情勢の変化により、人手不足も顕著に表れてきています。

長く勤めてもらうための改善を行なうとなると、行政の期待に応えることができなくなっています。

●子育て世代との懇談会



子育て世代との懇談の様子

「みらいる」での「絵本タイム」を見学し、終了後参加された子育て世代の皆さんと懇談会を行いました。

実際に話を聞かなければわからない実情が見え、とても参考になりました。

懇談要旨は、ホームページに掲載しています。

委員会開催

9月26日
10月5日
10月19日
10月26日
11月29日

(平山 光生 議員)

産業建設常任委員会

活動レポート



建設水道部

●第8期中標津町道路整備5箇年計画について

基本的に町が行う道路整備事業は、5年ごとに各町内会から聞き取り評価項目ごとに路線評価を行い、その結果に基づき整備計画を策定、道路整備を進めています。

第7期の計画では、市街地郊外地合わせて214路線の要望のうち40路線を選定し、計画を策定したとの報告を受けました。

委員からは、第7期での未着手の路線はどうするのか、準町道の整備についての質問などがありました。

●上下水道事業について

水道料金のキャッシュレス決済に、スマホ決済を導入し、支払い方法を拡充することによって支払いしやすくなることの説明を受けました。

委員 コンビニ対応の振込

りもシステム手数料が安いとのことですが、スマホ決済方法が数社あり、それぞれシステム手数料が違うのか。

担当 一カ所で集約、一律で請求してもらう形になります。

●建設工事の発注進捗状況について

12月15日完了の広陵中学校の現場視察を行い、進捗状況を確認しました。

冬休みに引越しを行い、仮



広陵中学校の現場視察

校舎は令和6年3月から解体、その後6月から外構工事を行う予定との説明を受けました。



広陵中学校の現場視察

●緑ヶ丘森林公園キャンプ場について

今年度の敷地補修工事、測量調査、基本設計及び実施設計、トイレ他改築実施設計、今後のスケジュールについての説明を受けました。

委員 システムなど利用者が予約しやすい方法を考えるのは、

担当 より使いやすく改善していきます。

経済部

●空港対策について

中標津空港利用促進期成会で運営している中標津空港線バス路線の一部改正等について、説明を受けました。

委員からは、ハイヤー会社との協議も必要ではないのかとの意見がありました。

●エゾシカ対策について

令和5年度エゾシカ有害駆除実績（5月から10月）の捕獲頭数、利活用率について説明を受けました。

委員 食肉活用については活用率がゼロですが、食肉化にする努力はしていますか。

ふるさと納税の返礼品につなげていくべきでは。

担当 前向きに検討します。

委員会開催 10月20日

11月27日

（佐野の 弥奈美 議員）

令和5年10月から12月までの活動報告

月 日	行 事	出席者	月 日	行 事	出席者
10月3日	議会広報特別委員会	全 委 員	20日	(仮称)別海・中標津・標津広域生活交通協議会(中標津町)	議 長
4日	津別町議会行政視察受入(中標津町)	議 長	21日	全員協議会(第3回防災力アップ講座)	欠 席 1 名
5日	厚生常任委員会(有限会社広栄様との懇談会)	全 委 員		北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会臨時会(札幌市)	議 長
	令和5年度交通安全指導員道東ブロック研修会交流会(中標津町)	議 長		北海道町村議会議長会理事会(札幌市)	議 長
10日	中標津町表彰式選考委員会	三常任委員長・議運委員長	22日	中標津町表彰式	議 長
12日	自見内閣府特命担当大臣と関係団体等との要望・懇談(根室市)	議 長	23日	中標津地区連合会結成30周年記念式典(中標津町)	議 長
	2023道東自動車道シンポジウムin厚岸(厚岸町)	副 議 長	25日	札幌中標津会総会・懇親会(札幌市)	正副議長・総務文教常任委員長・厚生常任副委員長
15日	自由民主党北海道第七選挙区支部根室管内移動政調会(中標津町)	議 長	27日~28日	根室町村議会議長会道外視察研修(香川県まんのう町、岡山県倉敷市)	議 長
17日	道東4地区管内町村議会議長会連絡協議会(中標津町)	議 長	29日	道内選出国会議員への要望活動(東京都)	議 長
18日	決算審査特別委員会(総務文教分科会)	関 係 委 員	30日	町村議会議長全国大会(東京都)	議 長
	総務文教常任委員会	全 委 員		道内選出国会議員への要望活動(東京都)	議 長
19日	厚生常任委員会	全 委 員		北方領土返還要求中央アピール行動に伴う議会交流会(東京都)	議 長
20日	決算審査特別委員会(厚生分科会)	関 係 委 員	12月1日	北方領土返還要求中央アピール行動「アピール行進」(東京都)	議 長
	産業建設常任委員会	全 委 員	4日	12月定例会議件事前説明	正副議長・正副議運委員長・三常任委員長・議長外10名出席
	岩谷学園ひがし北海道IT専門学校新校舎内覧会(中標津町)	議 長	5日	白糠町議会定例会傍聴(白糠町)	全 委 員
23日	決算審査特別委員会	全 委 員	6日	議会運営委員会	関 係 議 員
24日	根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会研修会(根室市)	高橋林活会長外12名	7日	中標津町外2町葬斎組合・根室北部消防事務組合・根室北部廃棄物処理広域連合・根室北部衛生組合各議会定例会	
	中標津飲食業連合会創立50周年記念式典(中標津町)	議 長	8日	中標津町軟式野球連盟納会(中標津町)	議 長
25日	決算審査特別委員会(総務文教分科会)	関 係 委 員	11日	総務文教常任委員会	全 委 員
26日	決算審査特別委員会(厚生分科会)	関 係 委 員		厚生常任委員会	全 委 員
	厚生常任委員会	全 委 員		産業建設常任委員会	全 委 員
27日	根室町村議会議長会主催議員研修会(別海町)	議長外16名		議会運営委員会	全 委 員
30日	決算審査特別委員会(産業建設分科会)	関 係 委 員	12日	12月定例会本会議(1日目)	議 長
31日	全員協議会	欠 席 1 名		議員会役員会	全 委 員
11月1日	決算審査特別委員会(総務文教分科会)	欠 席 1 名	12日	厚生常任委員会	全 委 員
	決算審査特別委員会(厚生分科会)	関 係 委 員		産業建設常任委員会	全 委 員
2日	決算審査特別委員会(産業建設分科会)	関 係 委 員	13日	総務文教常任委員会	全 委 員
	決算審査特別委員会(正副委員長・三常任正副委員長協議)	正副委員長・三常任正副委員長	14日	議会運営委員会	全 委 員
6日	決算審査特別委員会	全 委 員	15日	12月定例会本会議(2日目)	全 委 員
	正副委員長会	三常任正副委員長		全員協議会	全 委 員
7日	議会改革特別委員会	全 委 員		正副委員長会	三常任正副委員長
	議会モニター会議	欠 席 1 名	19日	議会広報特別委員会	全 委 員
10日	決算審査特別委員会	全 委 員	20日	議会広報特別委員会	全 委 員
14日	総務文教常任委員会	全 委 員	21日	根室町村議会議長会臨時総会(中標津町)	正 副 議 長
15日	議会広報特別委員会	全 委 員		釧根林活連絡会議役員会(釧路市)	阿部林活事務局長
18日	東京中標津会総会・懇親会(東京都)	正副議長・議運委員長・産業建設常任委員長	26日	中標津消防団歳末警戒	議 長
20日	根室農業大賞表彰式・祝賀会(中標津町)	議 長	27日	議会運営委員会	全 委 員

議会だよりをお読みの皆様へ

限られた誌面の都合上、掲載できない下記開催の議会内容については、中標津町議会ホームページからご覧いただけます。

●広域連合・一部事務組合の議会(12月7日開催)



議会だよりに対するご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地
中標津町役場

TEL (0153) 73-3111 FAX (0153) 73-5333

〈議会事務局にご連絡を〉

・ホームページは <https://www.nakashibetsu.jp> ・メールは gikai@nakashibetsu.jp

発行／北海道中標津町議会

編集／議会広報特別委員会

議会ホームページ

